

論文執筆 ワークショップ (全3回)

全分野対象
オンライン開催
参加無料

Nature Research Academies論文執筆ワークショップでは、Nature社の経験豊富な専属講師が論文の執筆や出版戦略について分かりやすく解説し、質疑応答や役に立つ実践演習を行います。ご参加をお待ちしております！

開催内容

オンライン開催（ウェビナー講義）全3回（2時間×3日）

各回とも17:00～19:00 ※ワークショップは英語で行われます。自動字幕（英語）あり

- ① 10月23日（月） Designing an Impactful Research（インパクトある研究をデザインする）*新トピック
- ② 10月25日（水） Effective Academic Writing（効果的なアカデミックライティングとは）
- ③ 10月27日（金） Maximizing Discoverability（論文を発見されやすくする）

参加資格

- 本学に所属する研究者または学生（大学院生、学部学生）であること
- ワークショップ終了後に配信される2種類のアンケート（Nature社と大学事務局）の両方に回答すること
- 原則として3回の講義全てに参加できること

※各回終了後、出席者にのみメールでアーカイブ動画のリンクが届きます。当日やむを得ず途中退席/入室した場合は、後日動画を視聴するようにしてください。ワークショップ終了後30日間視聴できます。

定員

250名

※申込が定員を超過した場合は、研究者→博士学生→修士学生→学部学生の順に優先し、調整させていただきます。

※申込は個人単位で行ってください。研究室等グループでの申込はできません。

申込

「事前登録」及び「本登録」が必要です。まずは以下の「事前登録フォーム」から事前登録を行ってください。10月上旬を目途に本登録についてご案内します。

<https://forms.office.com/r/H2gxkRVESu> 締切：9月29日(金)

QRコードはこちら⇒



前回参加者の声

「プレゼンテーションが面白く有意義だった」

「Academic Writingを学べる貴重なワークショップ」

「講師の説明が分かりやすく、論文執筆だけでなく論文執筆の教え方の面でも参考になった」 など

講師

Dr. Jeffrey Robens

(Editorial Development Manager)

nature research
academies

多彩な経歴を持つ生命科学分野の研究者であり、経験豊富な著者・査読者でもある。米国のペンシルベニア大学を卒業後、理化学研究所や京都大学を含む様々な研究機関での勤務を経て、現在は世界中でワークショップを開催。特に英語を母国語としない研究者を対象に論文の品質向上を手助けする。